

防災ヘリコプター『ほくりく号』による流域調査を実施します。

～ 災害発生時に備え、手取川流域・梯川流域・石川海岸沿岸に係る
 地形条件や危険箇所の状況を上空より確認します。～

- 災害発生時の初動対応としては、まず現地の被災状況を迅速かつ的確に把握することが重要な取り組みとなります。しかし、その被災が広範囲であるとき、あるいは交通網途絶に伴う陸上移動が不可能であるときには、速やかな全容把握が困難となる場合があります。
- このため、北陸地方整備局では上空からの情報入手が可能となるよう、防災ヘリコプター『ほくりく号』を平成17年度に導入し、北陸地域を中心とした防災体制の充実に努めています。
- 今回、手取川流域・梯川流域・石川海岸沿岸における洪水や地震等の災害が発生した場合に備え、
 - ◆現地の地形条件について、事前に把握しておく
 - ◆災害が懸念される箇所について、現状を把握しておく
 ことを目的として、金沢河川国道事務所職員が防災ヘリコプター『ほくりく号』に搭乗し、上空からの流域調査を実施します。
- これにより、災害発生時において迅速な「被災箇所の特定」やその「被災レベルの判定」、そして的確な「被災内容など情報発信」が行えるよう努めていきます。

【実施日時】

平成25年7月11日（木）9：00～16：40……計5フライトを予定
 <気象条件等により、実施日は翌日12日（金）になることがあります。>

【フライト発着場所】

辰口ヘリポート（水辺プラザ）……手取川 左岸7.6K付近
 <能美市山田町地先/辰口橋より上流約600m>

時刻・場所・防災ヘリコプターなどの詳細については「別紙」を参照ください。

防災ヘリコプター『ほくりく号』



上空からの調査イメージ



【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

〒920-8648 石川県金沢市西念4-23-5 TEL：076-264-8800（事務所代表）

調査第一課長 大角 一浩

流域対策課長 金谷 孝雄

7月11日（木）上空からの流域調査について
＜気象条件等により、実施日は翌日12日（金）になることがあります。＞

●フライト発着場所

辰口ヘリポート（水辺プラザ）……手取川 左岸7.6K付近
＜能美市山田町地先/辰口橋より上流約600m＞



●フライトスケジュール

- 1回目： 9：00～10：00……手取川上流域（白山砂防）
- 2回目： 10：40～11：40……手取川上流域（白山砂防）
- 3回目： 12：20～13：20……石川海岸沿岸
- 4回目： 14：00～15：00……手取川沿川・梯川沿川
- 5回目： 15：40～16：40……手取川沿川・梯川沿川

●ヘリ搭乗者

金沢河川国道事務所 河川、砂防、海岸の防災担当職員他 計32名

●防災ヘリコプター『ほくりく号』について

1) 概要

- ・最大8人乗り（操縦士等除き）
- ・画像伝送用カメラ並びに通信システムを装備
→撮影した画像をリアルタイムで北陸地方整備局等への配信が可能
→併せて、搭乗者からの現地状況の報告（音声中継）の配信も可能

2) 主な出動事例

- ・能登半島地震 平成19年3月
- ・新潟県中越沖地震 平成19年7月
- ・東日本大震災 平成23年3月
- ・新潟、福島豪雨 平成23年7月

3) その他

- ・防災ヘリコプターは、全国の各地方整備局で計8機配備され、『ほくりく号』はその一つ
- ・また、防災ヘリコプターは東日本大震災のような激甚な災害時には、全国から被災地への支援のために出動します。